



県議会とちぎ

第 99 号
 2011年6月12日
 編集・発行 栃木県議会
 〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
 TEL 028-623-3772
 FAX 028-623-3755
 E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp
 HPアドレス http://www.pref.tochigi.lg.jp/p01/kengikai



意欲あらたに、新議会スタート

新しい県議会の
 構成決まる

総額十九億八千七百二十五万円の
 平成二十三年度一般会計補正予算を可決

第三〇六回臨時会

第三〇六回栃木県議会臨時会は、五月十六日から十八日まで、三日間の会期で開かれました。

一般選挙後、初めて開かれた本臨時会の開会日には、正副議長の選挙が行われ、議長に神谷幸伸議員、副議長に岩崎信議員が当選しました。

本会議では、その後、六つの常任委員会と議会運営委員会、さらには議員の動議により設置された特別委員会の委員を議長の名指により選出しました。

本会議の休憩中に開かれたそれぞれの常任・議会運営・特別の各委員会では、委員長及び副委員長の互選を行い、委員長、副委員長が決定されました。

再開された本会議では、福田知事が提出議案三件(予算一件、その他二件)の説明等を行い、そのうち人事案件について採決が行われ、原案どおり可決されました。また、議員提出議案一件(規則一件)についても採決が行われ、原案どおり可決されました。十七日には、上程議案に関する代表質疑が行われ、四人の議員が質疑を行いました。

十八日の閉会日には、未採決の議案が原案どおり可決されました。また、宇都宮市街地開発組合議会議員の選挙が行われ、五名の議員が当選しました。

可決された主な議案

■平成二十三年度栃木県一般会計補正予算(第二号)

新議長・副議長の選出

第三〇六回臨時会開会日、正副議長選挙が行われました。

まず、議長選挙では、開票の結果、有効投票五十票中、神谷幸伸議員が三十七票、中川幹雄議員が十三票の得票となり、神谷幸伸議員（とちぎ自

民党、四期、鹿沼市・西方町選挙区）が第九十八代議長に選出されました。続いて、新議長のもとで行われた副議長選挙では、有効投票五十票中、岩崎信議員が三十一票、増渕三津男議員が十三票、一



副議長 岩崎 信



議長 神谷 幸伸

県議会広報テレビ番組のお知らせ

県議会広報テレビ番組が放送されます

「県議会へようこそ」（とちぎテレビ）を通じて、県議会の動きなどを皆さまにお届けしています。番組内容は次のとおりです。ぜひご覧ください。

「正副議長に聞く」

新たに就任した正副議長へのインタビューなどを放送します。



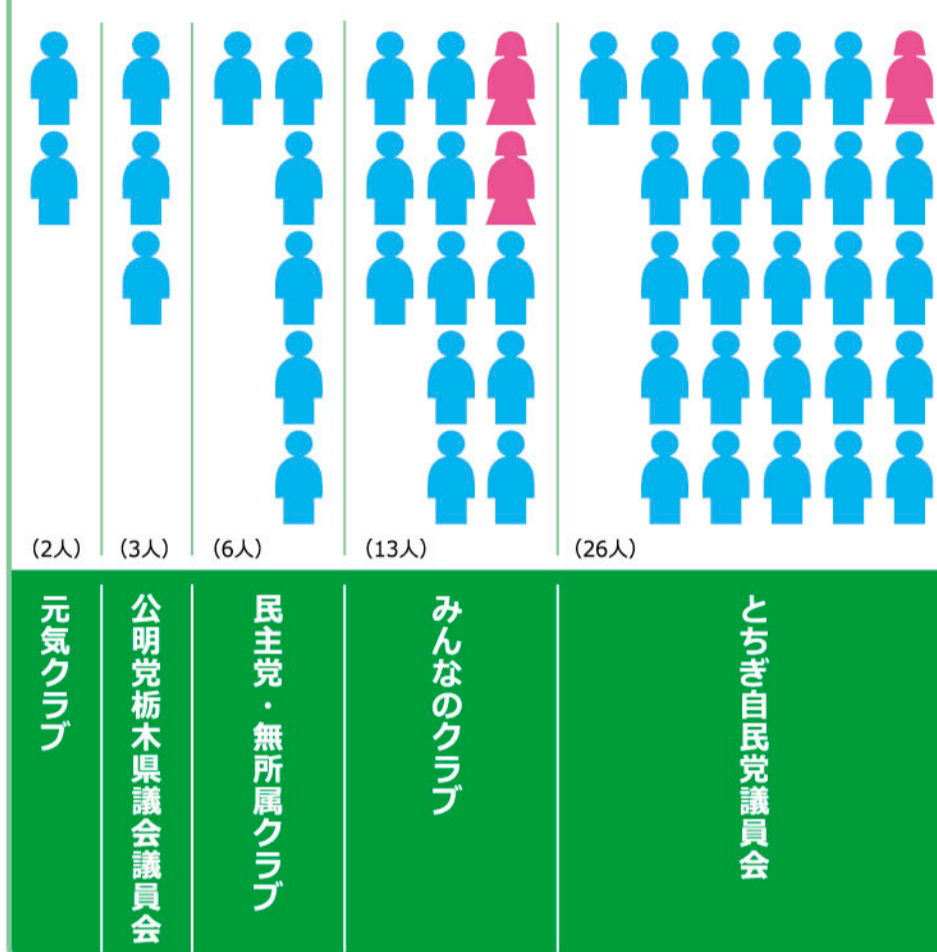
「県議会ハイライト」

本会議の質疑・質問や予算特別委員会総括質疑の模様、各委員会等の活動状況などを随時放送する予定です。



1 議員所属会派別構成

(H23.5.18 現在)



県議会ホームページ

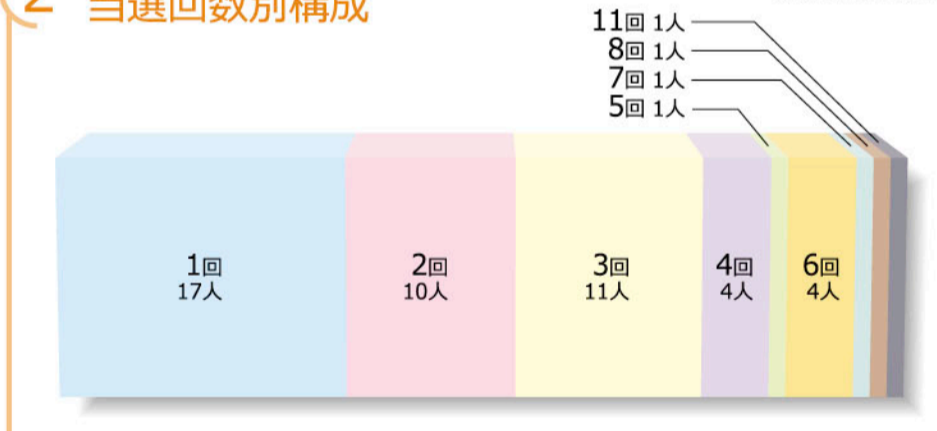
県議会のあらましや各定例会の概要、議員の紹介などが掲載されています。また、本会議の質疑・質問及び予算特別委員会の総括質疑が動画でご覧になれます。

定例会及び臨時会、各委員会の会議録についても閲覧・検索ができますので、ご利用ください。

県議会ホームページアドレス http://www.pref.tochigi.lg.jp/p01/kengikai

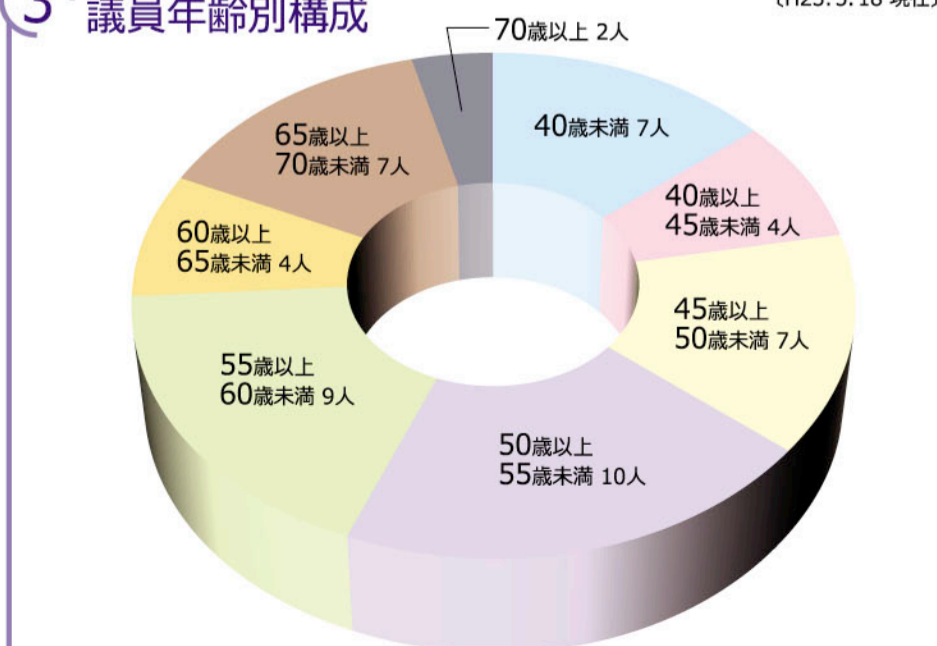
2 当選回数別構成

(H23.5.18 現在)



3 議員年齢別構成

(H23.5.18 現在)



県議会を担う新議員

- 凡例 (所属会派)
 とちぎ自民党……とちぎ自民党議員会
 みん な……みんなのクラブ
 民主・無所属……民主党・無所属クラブ
 公明 党……公明党栃木県議会議員会
 元 気……元気クラブ

那須塩原市・那須町(4)



矢板市(1)



大田原市(2)



日光市(2)



さくら市・塩谷郡(2)



那須烏山市・那珂川町(1)



宇都宮市・上三川町(13)



鹿沼市・西方町(3)



下都賀郡北部(1)



下野市(1)



芳賀郡(2)



佐野市(3)



栃木市・岩舟町(4)



真岡市(2)



足利市(4)



小山市・野木町(5)



※各選挙区ごとに当選回数、議席番号順に記載

〔平成23年5月18日 現在〕

第306回臨時会 本会議代表質疑

代表質疑者及び質疑項目、主な質疑の要旨とこれに対する知事など執行部の答弁の要旨は以下のとおりです。

<p>一 県内における学校の被災の状況とその対策</p> <p> 山口 恒夫 (公明党)</p>	<p>二 ガレキ処理 市員中学校の復旧に向けた支援 義援金の配分</p> <p> 一木 弘司 (民主・無所属)</p>	<p>一 栃木県震災復興推進本部の設置 補正予算の取組 風評被害対策</p> <p> 阿久津憲二 (みんな)</p>	<p>一 被災者支援 被災者・避難者の生活再建支援 被災地への県の支援 二 県内産業の復興対策 被災した農業者への支援 被災した県内企業への支援及び観光振興対策 三 環境及び電力対策 放射線モニタリング体制 電力対策 四 震災による廃棄物等の処理 教育施設における安全対策 社会資本等の復旧 五 今後の対応 六 今後の財政運営 今後の震災復興体制</p> <p> 三森 文徳 (とちぎ自民党)</p>
---	--	--	---

(注) () 内は所属党派 (とちぎ自民党) とちぎ自民党議員会 (みんな) みんなのクラブ (民主・無所属) 民主党・無所属クラブ (公明党) 公明党栃木県議会議員会 要旨を掲載している質疑項目は、太字で表示してあります。

今後の財政運営

問 東日本大震災により、

県税収入の大幅な減少が危惧される一方、公共施設等の本格的な復旧のため、災害関連経費が増大し、中期財政収支見込みに相当影響が出ると思われる。そこで、当初予算では二千三十億円となっている今年度の県税収入について、現時点でどのような見通しをもっているのか。

また、災害対策に最優先で取り組まなければならない状況下で、財政運営について、どのような舵取りをしていこうとしているのか、併せて知事に聞きたい。

答 今回の震災で、経済産業活動などに深刻な影響が生じ、今年度の県税収入は、法人関係税を中心に大幅な減収となることを懸念している。県では、災害復旧対策に最優先で取り組むこととしているが、見込んだ財源不足額が拡大することも想定され、困難な対応が求められると考えている。

このため、内部努力の徹底や行政経費の削減等を着実に推進するなど、適切な財政運営に努めて参る。

補正予算の取組

問 東日本大震災の直後、

県では知事の専決を二回行った。今回の臨時会では、十九億八千七百万円余の予算が上程されている。県の財政が厳しい状況にあることは、十分に把握しているが、今回のような災害時まではいかないまでも、もう少し積極的な予算を組むことで、復興に向けての熱意が出るのではないかと、知事の考えを聞きたい。

答 今回の補正予算案については、県内外の被災者への支援や被災した県有施設の復旧工事費等、早急に必要となる経費について提出している。今後は、道路や河川、農業施設等の本格的な復旧工事や医療施設、社会福祉施設等の復旧事業に取り組む必要があるため、国の第一次補正予算や災害復旧工事費に係る国の災害査定等を踏まえて編成作業を進め、六月議会において補正予算を提出したい。

今後とも、国の動向等を踏まえながら、復興推進本部を中心として、適時適切に対応していく。

市員中学校の復旧に向けた支援

問 市員町の公共施設は

壊滅的な被害を受け、特に、市員中学校は、廃墟と言つてよいほどの状態である。市員中学校の復旧に向け、ソフト・ハード両面において、どのように支援していこうとしているのか教育長に聞きたい。

答 県教育委員会では、復旧に向け、国の被災度区分判定への立ち会いや事業計画書の作成に関する技術的な助言を行うなど、国の支援制度を円滑に取り込めるよう支援していく。

また、子どもたちのストレスや不安、保護者や教職員の心労等、手厚い支援が必要な学校には、スクールカウンセラーの配置時間を拡大し、相談に幅広く対応する。

今後とも、市町村教育委員会と連携を図り、各学校が一日も早く通常の教育活動に戻ることができるよう支援するとともに、子どもたちが今回の震災を通過して得た様々な体験を今後の生活に活かしていくよう指導していく。



県内における学校の被災の状況とその対策

問 今回の震災では多くの

学校が被災し、校舎が使えない学校もある。そのため児童・生徒に様々な影響が出ていると思うが、その被災状況と児童・生徒への影響にどう対応するのか。

また、避難所でもある学校の体育館が被災し、その機能を発揮できなかったものもあった。そこで、小・中・高校の校舎と体育館の耐震化にどう取り組んでいるのか、併せて教育長に聞きたい。

答 県内の約七割の公立学校で約百三十六億円の被害があったところであり、早期復旧を目指すとともに、教職員に指導資料を配付し子どもたちの心のケアを図っているところである。

また、今回の地震では、耐震補強を実施した学校の被害が軽微であったことから、市町村に対し、なお一層の耐震化を促していく。

さらに倒壊等の危険性の高い施設の国庫補助率の嵩上げが平成二十七年まで延長されたところであり、引き続き国に対して補助制度の拡充を強く要望していく。

第307回定例会は、次の日程で開催する予定です。

本会議や委員会などはどなたでも傍聴することができます。また、本会議(質疑・質問)については、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、インターネットで生中継されます。

第307回 県議会定例会の開催予定

月 日	内 容	開始時刻
6月10日(金)	本会議(開会・議案上程)	午前10時
13日(月)	議案調査	
14日(火)	//	
15日(水)	(県民の日)	
16日(木)	本会議(質疑・質問)	午前10時
17日(金)	//	//
20日(月)	//	//

月 日	内 容	開始時刻
21日(火)	常任委員会	午後1時30分
22日(水)	//	//
23日(木)	特別委員会	//
24日(金)	検討会	//
27日(月)	議会運営委員会	午前11時
28日(火)	本会議(採決・閉会)	午前10時

詳細は、県議会議務局議事課 (TEL 028-623-3761) までお問い合わせください。